

すぎのこつうしん

平成26年度8月号 古川東町カトリック保育園

「手を合わせて 祈る心を育みましょう」

暑い夏を迎え、プールで大喜びの子ども達。連日、歓声を上げながら、元気に遊んでいます。それに伴い、毎日の水着の洗濯ありがとうございます。翌日も着ることが出来、たいへん助かっています。

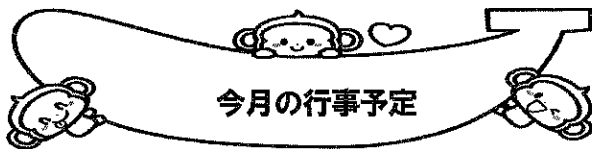
8月の目標は「手を合わせ祈る心を育みましょう」です。子ども達は朝夕マリア様の前を通る時、手を合わせ「おはようございます」「さようなら」と祈ります。朝の集いには病気で休んだ友だちが「早く良くなりますように」等と祈ります。食事の前後にも食べられることに感謝をして祈ります。子ども達は、みんな自然に手を合わせることが出来ます。私達大人はどうでしょう。何か自分のことでお願いをする時はきちんと手を合わせ祈ります。でも、毎日の生活の中で手を合わせ祈ることはあるでしょうか。困った時の神頼みではなく、子ども達と一緒にみんなに感謝しながら手を合わせて祈りたいですね。

仏教でもカトリックでも手を合わせて祈る心は同じです。御先祖様がいるからこそ、私達の現在があるのです。私達はいろいろな物事を守られて今ここに居ます。手を合わせることはそれら全てに感謝の心を持ち、自分の事ばかりでなく困っている人たちの事も祈ることなのでしょう。

自らの事を振り返り、今日から実行いたしましょう。

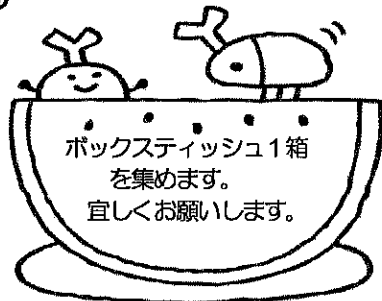
マリア様の御像の前で、手を合わせる親子が増えますように！！

〈 園長 平野 義子 記 〉



今月の行事予定

- 4日(木) 川渡カトリック保育園交流会 (5歳児)
- 5日(火) 静修の日 (3~5歳児)
- 7日(木) 西瓜割り大会
- 13日(水) ~15(金) お弁当の日
- 26日(火) 縦割り保育
- 27日(水) 誕生会
- 28日(木) 総合避難訓練



8がつ生まれのおともだち おたんじょうびおめでとう



おとうさんおかあさんから

生後2か月からお世話になり、もう6歳になります。冷凍した母乳を持っていき、後ろを何度も振り返りながら出勤していたことが、昨日のことに思い出されます。今では力強くタッチをして見送りをしてくれています。

保育園の先生方には、離乳食、トイレ、箸の持ち方等等教えたらい切がない程たくさんお話を教えて頂き、私達家族は「すごいね！そんなこともできるんだ。」と驚くことがたくさんありました。支えてくれる先生方や家族がいることもあり、振り返ってみると楽しい事ばかりです。

一人っ子のせいかな、家ではまだまだ甘えん坊で、私達大人もつい手を貸してしまっていますが、来春には小学生です。自分のことは自分でやらなくてはなりません。保育園で教えて頂いた「4つの心」を大切に、どんどん新しい世界へ自分から足を踏み出し、たくさんのお友達を作ってほしいです。

<ひつじ組 ○○○○くんのおかあさんより>



「手を合わせて祈る心を育みましょう」

保育園で子ども達は、手を合わせて祈ることから一日の生活が始まります。家庭で手を合わせて祈ることはありますか？私も小さい頃は大好きだったおじいちゃんのお仏壇の前で手を合わせて祈っていました。食事の挨拶もしていましたが、大人になるにつれていつの間にかしなくなっていました。しかし、息子が産まれてから一緒に「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶は手を合わせることに慣れていき、大人が見本を見せると子どもも真似から始めて、今では一人でも挨拶が出来る様になりました。

園と一緒に祈らない子がいた時に、「だって、ママ(パパ)してないよ」という言葉が返ってきたこともありましたが、子どもは親の姿をよく見ているので、まずは私達大人が行動してみせることで、子ども達にも色々覚えてもらえたら日々の保育でも心掛けていきます。今月はお盆もあるので、家族と一緒に墓参りに行ったり、食事の時に作ってくれた人や自然の恵みに感謝をして、手を合わせる時間を作って頂けたらと思います。少しずつの積み重ねが習慣となり、自然とできるようになったら素敵ですね。私も、おじいちゃんと話すことを楽しみにお盆を迎えたいと思います。

<こどり組担任 青木 友香>

クラスだより

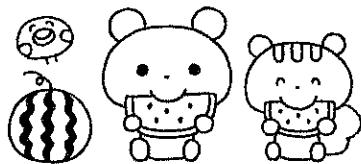
ばんび組 (0 歳児)

〈ねらい〉

- ◎手を合わせて、祈ることを知る。
- ◎暑い夏を元気に過ごす。

〈家庭連携〉

- ・食事の前後やお墓参りの時など、一緒に手を合わせ祈ることを知らせましょう。
- ・暑い日が多くなるので、汗をかいたら体を拭いたり、沐浴をし、快適に過ごせるようにしましょう。
- ・水分補給をする際は、冷たい物だと体を冷やすので気を付けるようにしましょう。



ひよこ組 (1 歳児)

〈ねらい〉

- ◎日常生活を通し、手を合わせて祈ることを知る。
- ◎興味や気持ちに応じてもらい、満足感を感じる。

〈家庭連携〉

- ・お墓参りや日常生活を通し、一緒に手を合わせて祈ることを知らせましょう。
- ・興味を持ったことに共感したり、気持ちを受け止め満足感を感じられるようにしましょう。
- ・今月から自分のコップを使用するので、毎日きれいに洗って持って来て下さい。



ことり組 (2 歳児)

〈ねらい〉

- ◎手を合わせ祈ることを知る。
- ◎色、形、数に興味を持つ。

〈家庭連携〉

- ・“いただきます”“ごちそうさま”の挨拶や墓参りで手を合わせる際は、落ち着いた気持ちで手を合わせられるよう声を掛けてあげましょう。
- ・クイズ等を通して、身の回りにある色や形、数に興味を持てるようにしましょう。



こねこ組 (3 歳児)

〈ねらい〉

- ◎手を合わせて、祈る心を育む。
- ◎夏の自然に触れ、見つけたことを保育士や友だちと伝え合う。

〈家庭連携〉

- ・家庭でもお盆時期などに、手を合わせて祈る大切さを知らせていきましょう。
- ・水遊びをする機会が多くなってくるので、家庭でも十分に体を休めたり、体調が優れない時はお伝え下さい。

うさぎ組 (4 歳児)

〈ねらい〉

- ◎祈ることの大切さがわかり、心を込めて祈る。
- ◎体を十分に動かして遊ぶことで、運動機能が高まる。

〈家庭連携〉

- ・お盆を通して、心を込めて祈る大切さを知らせていきましょう。
- ・親子で体を使った遊びを行い、運動会に向けて体力がつくようにしていきましょう。



ひつじ組 (5 歳児)

〈ねらい〉

- ◎心を込め、自ら祈る。
- ◎暑い夏を健康に過ごす生活の仕方を知り、進んで行おうとする。

〈家庭連携〉

- ・お盆などを通して、家庭でも手を合わせ、心を込めて祈る大切さを知らせましょう。
- ・こまめな水分補給や休息などを心掛け、健康に過ごせるように心掛けましょう。

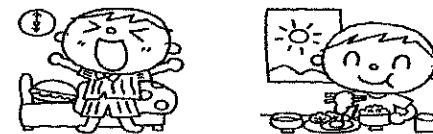
◎給食室より

暑い日が続いています。熱中症予防のため、こまめに水分(麦茶、薄めたポカリ)補給をしましょう。また、規則正しい生活(早寝、早起き)と、規則正しい食事を心掛け、夏に負けない体を作りましょう。

♪今月の童謡♪

『かもめの水兵さん』

- 1、かもめのすいはいさん ならんだすいはいさん しろいぼうししろいシャツしろいふく
なみをチャップチャップうかんでる
- 2、かもめのすいはいさん かけあすいはいさん しろいぼうししろいシャツしろいふく
なみをチャップチャップこえてゆく



☆今月の聖歌☆

『神様がわかるでしょう』

- 1、美しいこの空を 愛らしいこの花を 浮かんでる白い雲 香りよき青草を
じっと眺めるだけで ただ眺めているだけで ほら君もわかるでしょ 神様がわかるでしょう
- 2、ある時は涙ぐみ いつの日か夢に見た 心には愛もなく 過ごしてる時がある
じっと祈った時も ただ祈っていた時も ほら君もわかるでしょ 神様がわかるでしょう

あなたの一分間拝借

2014年8月1日

人間は、理性的動物であると同時に宗教的動物でもあるといわれます。誰でも神から頂いた宗教心、人間である限り、人間だけにあるかかわり、神の像（かたどり）を受けている事実が潜在しているのです。食べたり、飲んだり、子育てに励んだりするだけなら動物と何ら変わりがありません。動物と本質的に異なる点、それは宗教性が与えられていることです。聖書によれば、人間は神の息吹によって生かされた化学的元素から成り立っている肉体と神の似姿である霊性即ち肉体と霊魂が与えられた存在であることが啓示されています。8月のテーマは、『手を合わせて祈る心の育成に力を尽くしましょう！』ですが、先ず祈ることについて分かち合いたいと思います。

祈ること、それは人間だけにある素晴らしいエネルギーだと思えます。普段は眠っております。祈る気持ちなどサラサラ湧いてこないものです。祈りなんて老人や子ども達のような弱い人々の慰めごとに過ぎないのではと大多数の方々は思い込んでいるようです。しかし、この眠れる潜在的な能力が突然顕れる（あらわれる）時が訪れるのです。神様なんて口にしたことのない人が『神様助けて下さい』という心の叫びを誰しも認めざるを得ない時にハッとさせられるものです。それは、人が神の似姿、神の象り（かたどり）として、人たるしるしとして霊性を与えられている状態が物質文明の豊かさの中に浸っている姿といつも反省させられるものです。祈り、それは魂の息吹です。魂の神への挨拶に他なりません。各位の魂があなたといつも生きていたいと永遠に望んでいる『内なる心の叫び』でもあります。神との対話が静かに心を真、善、美なるものに向けさせてくれるもので、祈れば祈るほどその人の人間性は神の御心に叶う（かな）ようになります。

勿論、そこには各位の協力が生活の流れの中で伴わなければならないことに、心の目を向け自重自戒いたしましょう。なぜなら私たちは、形式的に祈っている場合が多いからです。雑念を避け、清き心で、祈らなければその効果は無に等しいでしょう。自己本位の祈りをしないよう心掛けたいですね。聖書によれば『主よ、主よという者が皆天の国に入るのはではない。主のみ旨（むね）を行う者だけが天の国に入るのである』と仰せられていることに目覚めましょう。真の祈りは、『よく生きる』ということにつながります。祈ってよりよく生きる場所に祈りの真相があるのです。

ある幼稚園の子どもが、誕生会で誰に言われたわけでもないのに礼拝堂に行って手を合わせ『神様今日、僕は5歳になりました。ありがとう』と言ったことは、祈りとは何か？を表していることと思います。この子どもは、様々な生活の流れの中で、しかも自分の言葉で、神にお話が出来たのです。作られた祈りを暗唱して祈るのではなく、自分なりの言葉で日々の喜び、悲しみ、苦しみ、日常生活の報告を申し上げるところに本当の祈りの姿があるのです。

8月は、『手を合わせて祈る心の育成に力を尽くしましょう！』です。祈ることは、弱い老若男女の専売特許ではありません。祈ることは、よく生きることです。よく働くことです。子ども達の心の奥底に潜在的な能力としてお与え下さった愛である神の贈り物を無用の長物として眠らせず、大人である私たちが模範を示しながら祈りつつ人間性教育の真の豊かさにか力を尽くしていただきたいと思えます。



祈る前に必要な七つの力

- ① 賛美あいさつの心を持つ
- ② 感謝、恵みに生かされていることに気づきお礼をする。
- ③ 赦し（ゆるし）「和を以て尊し」の精神をつくる。
そこには改心、新しい自分があるよう心掛ける。
- ④ 謙虚な心を持つよう努力する。
自分の願い、希望、全てを神に委ねてあなたのみ旨のままになりますようにと祈る。
- ⑤ イエスが求めていること
それは、供物いけにえ等より、祈る人の打ち砕（くだ）かれた心を求めている。
- ⑥ 他人のために仕える心を祈る。
他者の持つ、喜び、苦しみ、悲しみを共有する心をもつ。
- ⑦ 忍耐をもって絶えず祈る。
それは、神が私たちの心が恵みを与えるにふさわしい状態になっているかを見守り、与える時を待っているのですから！！



カトリック古川教会
司祭 川井 啓

